THI 処理プログラム (*thi.exe*) 使用説明書

青木繁伸

1996 年 2月 3日

目 次

1 *thi.exe* の準備 **2**
1.1 ハードディスクが使用できる場合 2
1.2 フロッピーディスクしか使用できない場合 2

2 データディスクの準備 **2**

3 *thi.exe* の起動法 **2**
3.1 起動後の最初の画面 2
3.2 処理メニュー画面 3

4 メニューによる処理の解説 **3**
4.1 A: 新規データの入力 3
4.1.1 データ名の指定 3
4.1.2 データ入力法 4
4.1.3 フェース項目の入力 4
4.1.4 回答の入力 4
4.2 B: 既に作成してあるファイルへの追加 5
4.3 C: 入力済み素データの訂正あるいは削除 5
4.4 D: 入力済み素データの表示 6
4.5 E: スコア (尺度得点、判別値) の計算 6
4.6 F: スコアの一覧表 7
4.7 G: 個人のプロファイル 7
4.8 H: 集団のプロファイル 8
4.9 I: ディレクトリー操作 (ファイル名の表示、削除) 8
4.10 J: 終了 8

1　*thi.exe* の準備

1.1　ハードディスクが使用できる場合

まず最初に、フロッピーディスクにある thi.exe をハードディスクにコピーしてください[1]。cd コマンドでカレントディレクトリを移動するか PATH を通すかなどの方法で、*thi.exe* が起動できるようにしておいてください。

1.2　フロッピーディスクしか使用できない場合

cd コマンドでカレントドライブを thi.exe の存在するドライブに移動するか、そのドライブのルートディレクトリに PATH を通すかなどの方法で、*thi.exe* が起動できるようにしておいてください。

2　データディスクの準備

thi.exe は、2 種類のファイルを作ります。1 つは THI の回答がそのまま記憶される “データファイル” と呼ぶもので、拡張子が “.dat” のものです。もう 1 つは “スコアファイル” と呼ぶもので、拡張子が “.scr” のものです[2]。これらのファイルが作成されるドライブを指示することができます[3]。

3　*thi.exe* の起動法

コマンドラインから単に

```
A>thi
```

と入力すれば *thi.exe* が起動されます。このようにして起動したとき、データファイルは B ドライブに作成されます。

B ドライブ以外にデータファイルを作るときには、

```
A>thi ドライブ名:
```

のように、対象とするドライブ名 (英字 1 文字) と “ : ” によって指定します。

例えば、C ドライブに作成する場合は、

```
A>thi c:
```

(注意: ドライブ名の後の ‘‘:’’ を忘れないでください)

のように指定します。

3.1　起動後の最初の画面

thi.exe が起動されると次に示すような画面になります。2 行目にどのドライブをデータディスクとみなすかが表示されます。表示されたドライブがハードディスク上のものではないときは、そのドライブにデータを書き込むべきフロッピーディスクを挿入してください[4]。

[1] ルートディレクトリにコピーしてもサブディレクトリにコピーしてもかまいません。

[2] これらはいずれも CSV ファイル (テキストファイル) であり、ワープロソフトで読み込んだり、BASIC 等で書かれたプログラムで読んだりすることができます。

[3] サブディレクトリを指定することはできません。必要なら事前に、該当ドライブのカレントディレクトリを変更しておいてください。

[4] ハードディスクの場合は、何もしなくてかまいません。

```
＊＊＊＊＊　　THI　(Todai Health Index)　　＊＊＊＊＊
データディスクを ’ B ’ ドライブに入れてください
コンピュータへの入力が ’ 0 ’ または ’ いいえ ’ の場合は、
リターンキーだけでかまいません
コンピュータへの入力が範囲の場合、’ 10 – 22 ’ のように入力できます
    何かキーを押してください ......
```

3.2　処理メニュー画面

オープニング画面が表示されてから何かキーを押すと、処理メニュー画面に変わります。

メニューを選ぶ場合は、先頭のアルファベットに対応するキーを押してください。リターンキーは不要です。

または、スペースキーあるいは矢印キーで希望する項目を反転表示させ、リターンキーを押してください。

```
  ＊＊＊＊＊　　THI 処理メニュー　　＊＊＊＊＊
A 新規データの入力
B 既に作成してあるファイルへの追加
C 入力済み素データの訂正あるいは削除
D 入力済み素データの表示
E スコア ( 尺度得点、判別値 ) の計算
F スコアの一覧表 ( 一度、メニュー E を実行してから )
G 個人のプロファイル ( 一度、メニュー E を実行してから )
H 集団のプロファイル ( 一度、メニュー E を実行してから )
I ディレクトリー操作 ( ファイル名の表示、削除 )
J 終了
```

4　メニューによる処理の解説

以下に、各メニューについて説明します。

4.1　A: 新規データの入力

各被検者の THI 調査票の回答をキーボードから入力し、データファイルに書き込みます。

既存のファイルに追加するときは、“B: 既に作成してあるファイルへの追加”(4.2項参照) を選択してください。

4.1.1　データ名の指定

“A: 新規データの入力” を選択すると、以下のような画面になります。最初にデータ名を指定してください。データ名としてはなんでもかまいません。ここで指定されたデータ名の後に拡張子として “.dat” を付けた名前を持つデータファイルにデータが書き込まれます。

既に存在するデータ名は受け付けられません。データの追加であるにもかかわらず “A: 新規データの入力” を選んでしまったときは、STOP キーを押して一旦プログラムを停止させて再度プログラムを起動

してください。

操作対象ファイル名は .... test ↵
　　新規データの入力拡張子を付けずに、8 文字以内の英数字で指定します。
　　既に表示されている名前でよければ、リターンキーだけを押します。

4.1.2　データ入力法

次に、応答形式についての質問があります。

THI データの入力は、質問を 1 問ずつ表示させながら対話的に行うこともできます。デモンストレーションを行うときなどに有効でしょう。

回収された調査票の内容を入力するときには、質問を表示させないで入力します。

質問を提示させながら、Q and A 形式で進めますか?
　1 はい　　2 いいえ

スペースキーまたは矢印キーを押すといずれかを選択することができます。選択される項目は画面上では反転表示になります。確定するときはリターンキーを押してください (選択肢の番号に対応するキーを押すとただちに選択・確定することもできます)。

通常は、“いいえ” を選択することになると思います。

4.1.3　フェース項目の入力

次の画面は個人情報の入力です (以下の例が一度に表示されるのではなく、入力に従って逐次表示されます)。

最後に、それまでの入力に誤りがないか確認する質問があります。1 ~ 4 までの選択肢から選択してください。

個人番号 ..... 1 ↵
0 を入力するか、リターンキーだけを押すとメインメニューに戻ります。
(通し番号などを入力します)

氏名 ..... Shigenobu Aoki ↵
漢字で入力してもかまいません。
(後述の個人プロフィールに出力されるものです。不要ならばとくに指定する必要はありません)

性別　(1) 男 (2) 女 ..... 1 ↵
性別は数字で入力します。男は 1、女は 2 です。

年齢 ..... 44 ↵
1 歳 ~ 99 歳までを有効とします。

入力に訂正はありますか
　1 氏名の訂正　　2 性別の訂正　　3 年齢の訂正　　4 修正なし

4.1.4　回答の入力

次の画面で、THI の各質問項目への回答を入力します。

使用するキーは、0, 1, 2, 3 のみです。回答の 3 つの選択肢に対して、左から数えた番号のキーを押します。リターンキーは不要です。回答が “はい”、“よく” などの場合は 1 キーを、“いいえ” などの場合は 3 キーを押すということです。回答がない項目や複数個の選択肢が選択されている項目の場合には、0 キーを押してください。

押されたキーに応じて、“- - -”、“Yes”、 “Med”、“No” が色分けして表示されます。

途中で、入力間違いがあっても気付いた時点では入力し直すことができません。間違えた所をチェックしておいてください。後で訂正できます。

```
個人番号： 1        氏名： Shigenobu Aoki（男）        年齢： 44
  1 Mid
  2 Mid
  3 No
  4 Mid
  5 - - -
```

回答の入力が終了したら、最下行に誤入力を訂正するための指示が出ます。訂正がなければそのままリターンキーを押してください。それで一人分のデータ入力が完了します。

誤入力を訂正する必要があるときは、質問番号を指示します。1 回の指示では 1 問だけの入力を訂正することができます。しかし、連続する場合は次の例に示したように、最初と最後の質問番号をハイフン (“–”) でつないで指定することができます。例では、2 ~ 4 の項目について、訂正をすることを表わします。訂正する質問番号が指定されると既に入力した誤データが消去されます。次いで、正しいデータを0, 1, 2, 3 によって入力してください。

全ての誤入力の訂正が終ったら、リターンキーだけを押してください。

なお、この時点以後でも誤入力を訂正することはできます (4.3項参照)。

```
個人番号： 1        氏名： Shigenobu Aoki（男）        年齢： 44
  1 Mid
  2
  3
  4
  5 - - -
   :
     訂正する質問番号 (0 で終了) ..... 2 – 4 ↵
```

4.2 B: 既に作成してあるファイルへの追加

既に入力済みのデータファイルに追加するときに選択します。

操作方法等は、“A: 新規データの入力” の項と同じです (4.1項参照)。

4.3 C: 入力済み素データの訂正あるいは削除

既に入力されているデータの訂正あるいは削除が必要なときに選択します。

データファイルに含まれる個人番号が表示されるので、対象となる番号を指定します。連続する番号はハイフン (“–”) でつないで指定することができます[5]。

[5]表示された個人番号の位置に基づくものではなく、各個人番号の数値がこの範囲に入っているかどうか数学的に比較されます。

データファイル 'f:test.DAT' には、以下の個人番号のデータがあります
3　　4
何番から何番までを訂正しますか?　3 ↵

4.4　D: 入力済み素データの表示

以下のような形式でデータファイルの内容を表示します。指定によってプリンタに出力することもできます。

1 行目は順に、個人番号、名前、性別、年齢を示し、2・3 行目は 130 項目への回答です。無回答項目は "0" として入力されます。

```
3　ななしのごんべ　2　　20
13222222220222222222222222222233333333333333333333333333333333333
33333333333333333333333333333333333333333333333333333333333333333
4　long long name　1　　1
11111111111121111111111111111111111111111111111111111111111111111
11111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111
```

なお、データファイル (拡張子が ".dat" のファイル) には、

```
3,"ななしのごんべ",2,20,"13222222220222222222222222222223...33333333"
4,"long long name",1,1,"11111111111121111111111111111...11111111"
```

のように入力されています。これは単なる CSV ファイル (テキストファイル) なので例えば BASIC プログラムなどでも読み込める形式です[6]。

4.5　E: スコア (尺度得点、判別値) の計算

データファイルからスコアを計算して、拡張子が ".scr" であるスコアファイルに計算結果を書き込みます。

F、G、H の各メニューを実行する前に、必ずこの操作を行う必要があります。

データファイル (拡張子が ".dat" であるファイル) に変更がない限り、1 回だけ行っておけば毎回行う必要はありません。データファイルの訂正・追加があった場合は必ずこの機能を実行してください。

画面に計算結果が表示され、スコアファイルに結果が書き込まれます。

```
3 ななしのごんべ 2 20
24 13 12 13 11 12 19 17 11 14 10 17 -2.71223 -3.97353 -0.82121
4 long long name 1 1
60 30 30 30 27 27 20 42 30 12 24 29 0.92421 1.13860 1.42370
```

スコアファイルは以下のような形式です[7]。カンマで区切られた項目は、順に、個人番号、名前、性別、年齢、12 尺度得点、3 判別値です。尺度得点および判別値の名称は 7ページの図 1を参照してください。なお、一番最後の数値は、"分裂病傾向" に対する判別値ですが、図 1に示すプロファイルには表示されま

[6]形式が同じならば、*thi.exe* を使用しないでも、適当なエディタによってデータファイルを作成することもできます。このようにすれば、*thi.exe* の D ~ H の機能だけを使えばよいことになります。

[7]統計ソフトでも利用可能です。ただし、統計ソフトによっては、ダブルクオートで括られた名前の項目を何等かの方法で削除する必要があるかも知れません。

せん。また、名前の性質上、取り扱いには注意してください (分裂病を鑑別診断するものではないということです)。

```
3,"ななしのごんべ",2,20,24,13,12,13,11,12,19,17,11,14,10,17,-2.71223,-3.97353,-0.821213
4,"long long name",1,1,60,30,30,30,27,27,20,42,30,12,24,29,0.924206,1.1386,1.4237
```

4.6 F: スコアの一覧表

4.5項の “E: スコア (尺度得点、判別値) の計算” で計算したスコアの一覧表示を行います。
指定によって、プリンタにも出力することができます。

```
3 ななしのごんべ 2 20
24 13 12 13 11 12 19 17 11 14 10 17 -2.71223 -3.97353 -0.82121
4 long long name 1 1
60 30 30 30 27 27 20 42 30 12 24 29 0.92421 1.13860 1.42370
```

4.7 G: 個人のプロファイル

スコアファイルをもとにして、図 1のような、個人単位のプロファイルを表示します。
指定によって、プリンタに出力することもできます。

プロファイルを描く個人番号を指定するときに、最初と最後の個人番号をハイフン (“–”) で繋いで (範囲で) 指定することができます。この範囲は表示される個人番号の順序ではありません。例えば、個人番号の表示が “1,5,3,6” のようなとき、“1 – 3” のプロファイルを描くように指定した場合には、表示上は 1 と 3 にはさまれている 5 に対するプロファイルは描かれません。

なお、選択的に数人のプロファイルだけを描こうとして、例えば上の例で “1,5,6” のように指定することはできません。1 度に指定できるのは、1 つの範囲か一人だけです。

```
個人番号： 32862    氏名： 群馬 太郎 （男）    年齢： 36

パーセンタイル      0.01 0.1    1    5 10 20    50     80 90 95   99   99.9 99.99
尺度（得点）         +----+-----+----+--+--+-----+------+--+--+----+-----+----+
多愁訴        (46)   :    .     .    .  .  .     .      .  .  .    @     .    :
呼吸器        (23)   :    .     .    .  .  .     .      .  .  .  @  .     .    :
目と皮膚      (20)   :    .     .    .  .  .     .      .  . @.    .     .    :
口腔と肛門    (25)   :    .     .    .  .  .     .      .  .  .    .     .@   :
消化器        (18)   :    .     .    .  .  .     .      .  .@ .    .     .    :
直情径行性    (18)   :    .     .    .  .  .    @       .  .  .    .     .    :
虚構性        (19)   :    .     .    .  .  .    .@      .  .  .    .     .    :
情緒不安定性  (31)   :    .     .    .  .  .     .      .  .  @    .     .    :
抑鬱性        (21)   :    .     .    .  .  .     .      .  .  .@   .     .    :
攻撃性        (16)   :    .     .    .  .  .    .@      .  .  .    .     .    :
神経質        (13)   :    .     .    .  @  .     .      .  .  .    .     .    :
生活不規則性  (26)   :    .     .    .  .  .     .      .  .  . @  .     .    :
心身症傾向    (-2.680):    .     .    .  .  . @   .      .  .  .    .     .    :
神経症傾向    (-1.611):    .     .    .  .  .     . @    .  .  .    .     .    :
尺度（得点）         +----+-----+----+--+--+-----+------+--+--+----+-----+----+
パーセンタイル      0.01 0.1    1    5 10 20    50     80 90 95   99   99.9 99.99
```

図 1　THI の個人プロファイル

4.8 H: 集団のプロファイル

スコアファイルに基づいて、男女別の各スコアの分布および平均値・標準偏差などを表示します[8]。
指定によって、プリンタに出力することもできます。

4.9 I: ディレクトリー操作 (ファイル名の表示、削除)

フロッピーディスク中にあるデータファイルおよびスコアファイルの名前の一覧表示を行います。
また、不要なファイルを消去することもできます。削除するファイルの名前は、拡張子を含めて指定してください。

4.10 J: 終了

THI 処理プログラムを終了します。

[8]便宜的なものです。